



大阪+知的障害+地域+おもろい=創造

## 知の知の知の知

社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所情報誌通算 2563号 2015.8.1 発行

小学館の賞にジャーナリストの森さん

産経新聞 2015年8月1日

第22回小学館ノンフィクション大賞は31日、ジャーナリスト、森健さん（47）の「小倉昌男 祈りと経営」に決まった。賞金は500万円。優秀賞の該当作品はなかった。大賞受賞作は、晩年を障害者福祉にささげたヤマト運輸元社長の半生に迫った。

【書評】『鉄太就職物語』中尾佑次・著

Sankeibiz 2015年8月1日



『鉄太就職物語 知的障害・発達障害の人たちのためのマンガ版 ビジネスマナー集』

### ■相談通じ理解を深め課題解決

130枚のイラストを掲載した「見て分かるビジネスマナー集」を原点として、マンガならではの笑いがあるストーリーを通してビジネスマナーの理解を具体的で分かりやすいものに進化させた。

ビジネスマナーは相手の気持ちを押し量ることが求められるが、知的障害者や発達障害者にとって容易なことではない。仕事の知識や技術があってもビジネスマナーでつまづいてしまうこともある。

こうした課題の解決には、関わりある人たちとのやりとりや相談を通して互いに理解を深め、解決に向け一緒に考えることが一番大

切という。各話の末尾にはワンポイントセミナーもあり参考になる。（1620円、ジアース教育新社）

松野明美氏 ダウン症の次男に教えられた「素晴らしい人生」

スポニチ 2015年7月31日

松野明美氏 Photo By スポニチ

元マラソンランナーでタレントの熊本県議・松野明美氏（47）が31日放送のTBS系「中居正広の金曜日のスマたちへ」（後9・00）に出演。ダウン症の子を持つ母親としての思い、そして政治家として成すべきことなどを力強く語った。



08年に当時4歳の次男がダウン症であることを公表した松野氏。それまでは長男と違い、成長の遅いことをなかなか理解できなかったという。世間の目を気にして外に出せず家に閉じ込めてしまう日々。「自分の明るいイメージが崩れてしまう、無くなってしまふような気がして」。明るいキャラクターで知られた松野氏にとって、苦しんでいる姿を世間に見せることはできなかった。

そんな松野氏を変えたのが、友人に勧められて行った支援サービス施設での体験だった。他の子供たちと楽しそうに遊ぶ姿に「外に出て行った時の、新しいものを見た時の目の輝きとか、あのキラキラした瞳を見ると、何でも見せてあげないといけないなと。子供に失

礼だなと気づかされた」。

競技を通じ人生は勝ってこそ意味があると考えてきた松野氏だが、ダウン症の次男に人生は競争ではないと教えてもらったという。「マラソンに例えると、どんなに時間がかかっても笑顔でゴールで待ってられるような母親でありたいと思う。早かろうが遅かろうが本当に関係ないんだな、素晴らしい、いい人生なんだなと気づかされましたね」。

そんな中、福祉関係者から地元の熊本市議選出馬を打診された。障害を持っていても前を向いてほしい、その歩みを助ける国にしたいという思いから政界進出を決意。そして市議を経て、今年4月からは県議へと舞台を移し、新たなスタートを切った。

「次男が障害があって生まれましたから、息子たちが大人になった時に自立して、自分の足で歩いて行けるような、生きていけるような社会になったらいいと思う。そういう部分を精一杯訴えていきたい」。そう言葉に力を込めた。

松野氏は88年のソウル五輪陸上女子1万メートル代表で、後にマラソンでも活躍。引退後はタレント活動などを経て2010年の熊本市議増員選挙で初当選。2期を務め今年4月の統一地方選・熊本県議選で初当選を果たした。

#### 売店：5障害者施設が共同運営 東区役所に開設 弁当やパン、工芸品など 日替わりで担当 /福岡

毎日新聞 2015年07月31日

東区内の五つの障害者施設が共同で運営する売店が東区役所1階にできた。営業時間は開庁日の午前10時～午後4時で、各施設で作られた弁当などが売られている。

障害者の自立支援や区役所利用者の利便性向上などが開店の目的。ふよう学園▽元気堂▽箱崎翔店▽ひまわりらんど▽ワークショップたちばな--の5事業所が日替わりで売り場を担当する。各施設で作られた弁当やパン、洋菓子のほか工芸品や雑貨などが並び、それぞれの特色が楽しめる。切手やはがきも売られている。

区の担当者は「丹精込めて作られた商品が並んでいる。一人でも多くの方に利用してほしい」と話している。【黒澤敬太郎】

#### 社説：最低賃金アップ 働く人の貧困なくそう

毎日新聞 2015年08月01日

非正規雇用の人などに大きく影響する最低賃金が大幅に引き上げられる。中央最低賃金審議会の小委員会は2015年度の最低賃金（時給）の目安額を全国平均で18円引き上げることを決めた。日額から時給に変更した02年度以降最大で、全国平均は780円から798円になる。

経営者側の反対は強いが、複数の仕事をこなしながら年収200万円に満たない非正規の労働者は多い。働く人の貧困をなくすため、さらに待遇改善を目指すべきだ。

最低賃金は、働く人の生活の安定や国民経済の健全な発展を目的とする「最低賃金法」に基づいて毎年改定される。雇用形態や業種に関係なくすべての労働者に適用され、最低賃金を守らない経営者に対して罰則規定もある。経営の苦しい中小企業は最低賃金が上がると人件費がかさみ、さらに経営を圧迫する。経営状況と労働者の生活の安定のバランスを取るため、労使が入った国の審議会で目安額を決めることになっているのはそのためだ。

今回は安倍政権側からの強い働きかけがあって大幅アップになった面は否めない。異例の政治介入を批判する向きもあるが、最近の春闘では政権側が賃上げ要請を経営者側に強め、その結果として主に大企業の正社員の賃金アップが実現している。最低賃金やそれに近い水準の人が多い中小・零細企業の従業員や非正規雇用労働者を置き去りにするわけにはいかないだろう。

低所得者層の手取り収入が増えれば消費が喚起され、それが中小・零細企業にも好影響を与えることになる。今や雇用労働者の3人に1人以上は非正規雇用だ。景気の好循環を実現するためにも、人数の多い低所得者層の賃金の底上げをする意味は大きい。

最近は欧米各国で中間層の底上げを目指して最低賃金を引き上げる傾向が強い。これまで最低賃金制度がなかったドイツでも今年から導入された。もともと日本の最低賃金の水準は先進諸国の中では低い方で、ようやく全都道府県で生活保護を上回った程度に過ぎないのだ。

地域間格差も問題だ。東京に比べ沖縄など7県は214円も低く、昨年度よりさらに格差が広がる。地域の物価水準などが反映されるためだが、地方から働く世代が高い賃金を求めてさらに流出しないだろうか。地方の労働力不足の対策も必要だろう。

政府は中小企業への助成金など支援策を実施するという。大企業には下請けの中小・零細を支援することをもっと求めたい。働く人が安心して生活できる賃金を得られるよう官民挙げた取り組みが必要だ。

### <社説>子どもの貧困 総力挙げた取り組み急げ 琉球新報 2015年8月1日

子どもの貧困は沖縄が最も力を入れて取り組まなければならない課題の一つだ。その対策を急がなければ沖縄の将来にも大きく影響しかねない。県が子どもの貧困対策推進計画の策定に向け、児童福祉や自立支援の専門家らでつくる検討会を発足させた。本年度中に計画を取りまとめる方針だ。

計画策定は、生活が苦しい家庭の子どもの支援を目的に2014年1月に施行された「子どもの貧困対策推進法」に基づく。ことし10月には計画に盛り込む施策を決める。

県も認めるように、子どもの貧困をめぐる沖縄の状況は極めて深刻だ。計画の策定はむしろ遅いくらいであり、関係機関や専門家らと連携し、ぜひ総力を挙げて取り組んでもらいたい。沖縄は1人当たりの所得が全国最下位である。県によると、有業者で年間所得が200万円を下回る世帯割合(12年)は24・7%と、全国9・4%の2倍を超える。非正規就業者率(同)は44・5%と全国一高い。子どもの貧困率が高くなる母子世帯の出現率(13年)は5・46%と全国の2倍だ。

一方、子どもの高校・大学などへの進学率は全国に比べかなり低い。親の世代の貧困が子どもの教育格差や次の世代の貧困にもつながる「負の連鎖」を止められない重い現実がある。子どもの貧困は教育や学力の格差のみならず、健康や虐待、さらには非行、若年無業者など沖縄が抱えるさまざまな課題にも根深く関係している。社会全体で対応していかなければならない重大問題であることは明らかだ。

1985年に10・9%だった日本の子どもの貧困率は12年には16・3%まで悪化した。今や「子どもの貧困大国」とも指摘され、沖縄では3割程度に達するとみられる。ただ政府は地域ごとの数字を報告しておらず、自治体などからは実態が見えにくいとの批判がある。

対策づくりには実態の把握が不可欠なことは言うまでもない。政府は詳細な調査とその公表を通じて自治体の取り組みを支援しつつ、ひとり親世帯への支援拡充や支援団体への助成策などの具体化を急ぐべきだ。

県は推進計画に貧困対策の数値目標も盛り込むという。具体的な数字を掲げる姿勢は評価できる。ぜひ実効性のある施策づくりにつなげ、速やかに実施してほしい。

### 介護給付の不正請求で事業取り消し 架空のサービス記録を作成 2500万円返還請求 産経新聞 2015年7月31日

介護サービスの水増しや架空請求で介護給付費約1790万円を不正受給したなどとして、大阪市は31日、介護保険法と障害者総合支援法に基づき、高齢者や障害者への介護サービスを行う「株式会社月桂舎」(中央区)と同社が運営する「月桂舎ヘルパーステーション此花」(此花区)の事業指定を取り消したと発表した。不正請求額に加算金を合わせた計約2500万円の返還を求める。

市によると、系列施設でケアマネジャーも務める月桂舎の取締役の男女2人が、訪問介護の回数や時間の水増し、まったく行っていないサービスの提供記録の作成などを従業員らに指示。平成25～27年の間、市に計約420件の不正請求をしていた。利用者側の通報をきっかけに市が昨年9月、指導で立ち入りし、書類を確認したところ判明した。

### 障害者施設で性的虐待 那須塩原 県が受け入れ停止処分 東京新聞 2015年8月1日

県は三十一日、那須塩原市の障害者就労支援施設で職員が体験利用者に性的虐待をしたとして、施設を運営する市内のNPO法人を新規利用者の受け入れ停止処分にした。処分の期間は一～二十四日。

県によると、六月にNPO法人の役員を兼ねる男性職員が、体験利用者の女性の同意を得ずにマッサージと称して肩や背中をもみ、さらに床にうつぶせにしてふくらはぎをもんだとされる。女性の知人がその後、県に通報して発覚した。

県は当初、六カ月の処分を予定していたが、二十四日付で施設を廃止するという届けがNPO法人から出されたため、廃止日までの処分にした。

### 子のことば心配な親へ 8、9日アバンセで「育む会」全国大会

佐賀新聞 2015年07月31日

全国ことばを育む会佐賀大会をPRする佐賀県ことばを育む親の会の吉田敏幸さん(中央)ら=佐賀新聞社

■講演・シンポ 通級卒業生ら

ことばやきこえに心配のある子どもの保護者などで作るNPO法人「全国ことばを育む会」の全国大会が8月8、9の両日、佐賀市のアバンセで開かれる。記念講演やシンポジウムがあり、一般の聴講も受け付ける。

大会は保護者と関係者が交流し、親の会の在り方や教育・福祉・医療のより良い方向性を探る目的で開催。全国から約250人が参加する。

8日は開会行事の後、午後2時すぎから記念講演。福岡県行橋市の内田産婦人科医院の助産師で、思春期保健相談士の内田美智子さんが「いのちをいただいて、つないで、育むこと」の演題で話す。9日は午前9時半からシンポジウムを実施。軽度の障害のある児童生徒が状態に応じて指導を受ける「通級」の卒業生や保護者、指導者らが意見交換する。

参加費は1000円(資料代含む)。当日参加も受け付ける。問い合わせは「佐賀県ことばを育む親の会」事務局の吉田敏幸さん、電話090(8915)5832へ。



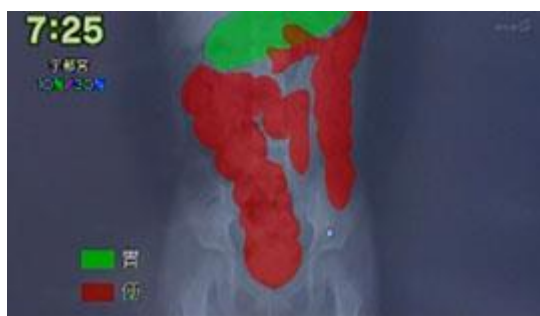
### 重症化する子どもの便秘



1枚のレントゲン写真。重い便秘に苦しむ6歳の女の子のおなかを写したものです。この赤い部分。実は全部、便なんです。胃のすぐ近くに

NHK おはよう日本 2015年7月31日

阿部「朝の食事どきにちょっと失礼します。子どもの便秘についてです。実は最近、重い便秘に苦しむ子どもがとて多いんです。」



まで、びっしりと詰まっています。出口の部分は、骨盤の幅いっぱい腸が膨らんで、缶ビール大の硬い塊になっています。こうなると出すのがとても大変なんです。

**患者の母親「もう大きな石ですね。身震いする感じ。出す瞬間は体が震えたり。」**

子どもの排便の悩みに答える専門外来では、ここ数年、重症の便秘に苦しむ子どもが急増。月に150人もの患者が訪れています。深刻化する子どもの便秘の実態に迫ります。

和久田「横浜市の医療機関が、3,500人余りの子どもに聞いた調査では、20%が便秘症を患っていて、52%が便秘の傾向にあることがわかっています。実に7割の子ども達が悩みを抱えていることになるんです。」



阿部「きっかけとなるのは、偏食や運動不足などさまざまですが、子どもはひとたび便秘になると我慢を繰り返し、急速に重症化する特徴を持っています。さいたま市内の病院を取材しました。」

**重症化**

### する子どもの便秘

子どもの排便の専門外来を開いている、中野美和子医師です。便秘が重症化することによって、生活にも大きな影響を与えるケースを数多く見てきました。この日、診察に訪れた小学5年生の男の子。

さいたま市立病院 中野美和子医師「学校休まず行っているんだよね？」

母親「5月の初めに便秘になって、学校を休んじゃって。」

さいたま市立病院 中野美和子医師「学校も行けなかったんだ。」

便が腸内に収まりきらなくなり、本人の意思とは関係なく漏れてしまうようになりました。男の子は、授業中に漏らしてしまうのではないかと不安から、不登校になってしまいました。



便秘の男の子「みんなに臭いと言われそうで怖かった。いじめられそう。みんなから避けたい。ばれるのが怖いから、遊ぼうと言われても遊べない。」

体ばかりでなく、心にも大きな傷を与えてしまう子どもの便秘。その背景には、子どもたちのゆとりのない生活があると中野医師は考えています。



さいたま市立病院 中野美和子医師「ゆったりした時間を持ってない、つまり一日中とても忙しい。お稽古事が毎日あったり、お母さんが忙しいと、子どもも緊張した状態にある。そういうことは当然、排便には影響が出る。」

### 便秘の背景 ゆとりない生活

中野医師の元で治療を続ける患者にも、同じような状況から便秘が悪化した子どもがいます。ハルトくん、5歳です。便秘が進行したのは3年前。母親がフルタイムで働きはじめ、保育園に行くようになったころから始まりました。

ハルトくんの母「7時前には家を出て、7時に登園、6時半まで保育園。(自宅に)帰ってきてもご飯とお風呂。遊ぶ時間も自由になる時間も全くなく、どのタイミングでしたらいいかわからなくなりました。」

家で排便しなくなったハルトくん。母親は保育園でしているだろうと考えていました。しかし、ハルトくんは保育園でも全くしていませんでした。気付いた時には、便秘は重症化



していたのです。

ハルトくんの母「すごい重症だったよ、もう少しで手術が必要だったよと言われて、親としての責務を果たしていないと、すごく悲しくなりました。」

治療を続けて3年。母親はハルト君がゆとりをもって排便できる時間をつくることに努めました。今では、便秘も解消に向かっていきます。



### 意識を変えて便秘を防ぐ

増え続ける子ども

の便秘をどうしたら防げるのか。埼玉県の小学校では、3年前から意識を変えようと取り組んでいます。

♪ “もしもし便よ 便さんよ  
世界のうちでお前ほど



体のわかるものはない”

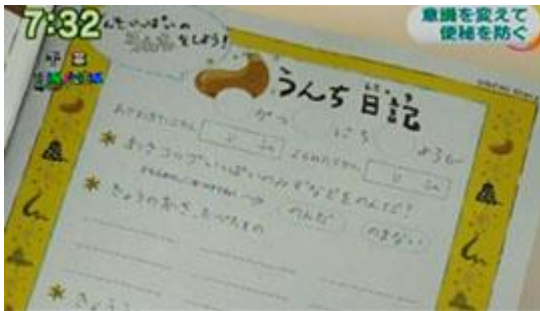
子ども達が歌っているのは、「祝便（しゅくべん）体操」。排便に必要な筋肉を鍛えながら、便の大切さを学びます。この学校では、体調不良を訴える子どもたちのほとんどが便秘傾向にあることに気づき、この取り組みを始めました。こうした授業を通して、子どもたちは排便を恥ずかしいことではないと考えるようになりました。



子ども「2年生の頃はしたくなかったけど、今日の話を聞いていてしたくなりました。」

子ども「きまった時間に、ちゃんとうんちを  
したいなと思いました。」

さらに、子どもたちばかりでなく親の意識を変えたのが「うんち日記」です。毎日の生活習慣と排便のようすを記録。保護者からもコメントを  
求めること  
で、家庭



でも関心を持ってもらうことがねらいです。この日誌に取り組んだ、3年生の細見研一くん。以前は、数日間出なくてもあまり気に留めず、両親に相談することもありませんでした。



細見研一くん「おなかは痛かったけど、次の日にできればいいかって感じ。」

日記をつけることで、毎日することを意識するようになった研一くん。出なかった日は両親に伝えるようになりました。この取り組みで母親は初めて、研一くんが便秘傾向にあることに気がきました。

研一くんの母「まあ（毎日）出ているだろうぐらいの感じ。2日くらい出ない時もあったと聞いてびっくりした。」

食事にも気をつけるなど、家族で生活習慣を見直すきっかけとなったといいます。

研一くんの母「できるだけ根菜類やひじきなどが入るように心がけています。」

大人が子どもの体調の変化にいち早く気づき、便秘を防ぐ取り組み。重症化を未然に防ぐために重要だと中野医



師は指摘しています。



さいたま市立病院 中野美和子医師「今の生活で緊張し続けてないか、ちゃんと食事しているか、食事内容が良いか、すべての情報がうんちに込められている。お母さんも毎日見ていればわかるので、チェックすることが大事。」

#### 意識を変えて便秘を防ぐ

和久田「子どもの便秘は『たかが便秘』と考えられがちで、治療につながりにくいという現状があります。

子どもの便秘の診療ガイドラインには、詳しい対処方法や専門医のリストなどが掲載されています。」

#### 親の精神障害、相談できぬ孤独 経験語り合い、前へ 朝日新聞 2015年8月1日



精神障害のある親に育てられた人たちが経験を共有し、支え合おうとつながりを強めている。子どもの中には、親の病状を理解できない戸惑いや、誰にも相談できない孤独を抱え、大人になっても生きづらさを感じている人も多い。同じ立場で体験を語り合うことで前に進もうとしている。

NPO法人・地域精神保健福祉機構（通称・コンボ）の主催のセミナーが5月、東京大本郷キャンパスで開かれた。参加者は約20人。ほとんどの人の親が精神障害を抱えていた。

その中の一人、千葉県の女性（47）が震える声でマイクを握った。「一般の家庭を知らない私は、自分の家庭に違和感を感じるようになるのに、ずいぶんと時間を要しました」

幼い頃に両親が離婚。母と祖母は口論が絶えず、女性はストレスから中学の時に自律神経失調症になった。いま思えば母と祖母は会話がかみ合っていなかった。だが、幼い頃は母の言動に疑問を持たず、恥ずかしさから家庭の状況を誰かに相談しようとも思わなかった。

成人して母と2人暮らしをするなかで、不自然さに気づいた。母は街で見知らぬ人を見て「後をつけてくる」と指さしたり、室内で他に人がいないのに「聞かれてるから」と筆談を始めたり……。「そんなことはあるわけない」と思ったが、母が怖くて言えなかった。

#### スナードイ・クマエ絵画展：カンボジアの子供描く世界 きょうから甲南大 /兵庫

毎日新聞 2015年07月31日

カンボジアの子供たちが描いた作品を展示する「スナードイ・クマエ絵画展」が31日から、神戸市東灘区岡本8の甲南大甲友会館1階ロビーで始まる。同大卒業生で、現地で児童養護施設を運営するメアス博子さん（41）が毎年開き、今年で7回目。作品の販売収益は全て施設運営に充てる。8月2日まで。

メアスさんは2000年から、アンコールワットから車で15分のスナードイ・クマエ孤児院の運営に関わり、11年から代表を務める。施設名は「カンボジア人の手によるもの」を意味し、カンボジア人スタッフと、虐待を受けて保護された子供を高校卒業まで育てる。8～21歳の23人が入所中だ。作品は子供たちが水彩絵の具やクレヨン、色鉛筆で制作した。題材は動物や自然の他、手をつなぐ二つの人影など、さまざま。伸びやかな絵について、メアスさんは「何も指導はしていません。心の落ち着きが鮮やかな色遣いに表れるでしょう」と話す。午前10時～午後5時。入場無料。絵は2000～6000円。問い合わせは同大広報（078・435・2314）。【松本杏】

## 障害年金の支給、地域差を是正へ

朝日新聞 2015年7月31日

病気やけがで障害を負った人に対する「障害基礎年金」を支給するかどうか、日本年金機構が判定する際の統一基準となる指針がまとまった。地域によって精神・知的障害の認定方法にばらつきがあるため、是正を図る。来年1月以降に運用を始める。

指針を議論した専門家検討会が30日、厚生労働省が示した案を了承した。指針では「通院や服薬」「意思伝達」といった7項目の能力などの評価指標に沿い、主治医が申請者の日常生活の困難さを診断書に記載。この結果に応じて認定する障害等級の目安も明記した。

障害年金の認定は、都道府県ごとにある日本年金機構の事務センターが実施。委託した認定医が、主治医の診断書をもとに判定しているが、いまは精神・知的障害の認定方法が地域によって違う。2010年度から3年間に不支給となった割合を都道府県別にみると、最も高い大分県（24・4％）と最も低い栃木県（4％）で最大6倍の地域差があった。

## 地方点描：農福連携[湯沢支局]

秋田魁新報 2015年8月1日

「良い出来に仕上がったので」との言葉とともに、小玉スイカを頂いた。一口食べて予想以上の甘さに驚いた。「シャリシャリ」とした食感も忘れられない。定植から収穫まで一貫して関わったのは、羽後町字稲荷の知的・精神障害者向け就労支援事業所「すみれ」の利用者たちだ。

施設はNPO法人いなり福祉会（大野勝比古理事長）が運営。社会的自立に向けた訓練の場として7月1日に本オープンした。利用者は9人。農家でもある大野理事長が所有するシイタケや野菜用のハウス、畑を活用し、障害の程度などに応じて菌床シイタケや小玉スイカ、ネギ、トウモロコシを作っている。おいしさの秘訣（ひけつ）について大野理事長は「廃菌床などを組み合わせた肥料と利用者の愛情」と明かしてくれた。

先日訪れた際も、利用者が菌床シイタケをハウス内に移す作業に汗を流していた。印象的だったのは、みんな笑顔で雰囲気が明るかったことだ。「表情が豊かになり、会話する機会が増えた人もいます」と進藤順子副理事長。屋外で緑に囲まれて働くことは、プラスの効果があるのかもしれない。収穫した作物には施設のシールを貼り、地域の一部店舗で販売。確かな味は消費者に伝わり、問い合わせが増えているという。

高齢化などで農業現場の労働力が減少する中、障害者が担い手となる「農福連携」が注目されている。「自ら作った作物が評価されることで利用者が自信を持ち、仕事へのやりがいを感じてもらえれば」と大野理事長は力を込める。

「すみれ」のブランドがさらに広がることを期待している。

月刊情報誌「太陽の子」、隔月本人新聞「青空新聞」、社内誌「つなぐちゃんベクトル」、ネット情報「たまにブログ」も



大阪市天王寺区生玉前町5-33 社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所発行